

庵治石いろいろ展

去る7月1日～9月10日まで、純愛の聖地庵治観光交流館にて、庵治石いろいろ展「職人物語」という庵治石で作った小物類の展示即売会がありました。

このイベントに日頃お世話になっている石遊会さんも出展しているということで、見学に行くことにしました。

出展物は庵治石の素材を活かした物や新たな工夫を凝らしたユニークな物、縁起物やお遍路にまつわる物と多種多様で、見ていてもとても面白く、石に携わる者でなくても楽しんで頂けたのではないのでしょうか。

今後もこのような催しが定期的に開かれ、多くの方に今一度、庵治石のこと、石材産地のことを知って頂き、身近に感じてほしいものだと思います。



営業卸部門・本社 松嶋

あかりにつどうお墓再特集

前号で好評を得たあかりにつどうお墓の再特集です。

写真の枚数等を増やしてより、イメージを分りやすくしました。尚、現在、本社展示スペースで展示中です。お気軽にご見学下さい。また、詳細図面・写真も準備しておりますので、各営業担当者、もしくは本社事務所まで、お問い合わせください。



営業卸部門・大阪営業所 横井

西方院の聖徳太子像

西方院（さいほういん）は、大阪府南河内郡太子町にある浄土宗の仏教寺院。

寺伝によれば、創立は推古天皇30年（622年）、開基は三尼公（善信尼、禅蔵尼、恵善尼）。

本尊は阿弥陀如来と十一面観音菩薩。

『河内名所図会』等に見える伝承によれば、622年に聖徳太子が死去した後に出家した三人の侍女、善信（俗名月益、蘇我馬子の娘）・禅蔵（俗名日益、小野妹子の娘）・恵善（俗名玉照、物部守屋の娘）により、聖徳太子廟がある叡福寺の門前にその塔頭として法楽寺の寺号で創建されたといひ、聖徳太子作の阿弥陀如来像を本尊として遺髪を納めたと伝わる。



本堂まえには参拝者のどなたでも気軽に触れる事のできるようにと「聖徳太子像」が祀られています。

2021年には開基「1400年」を迎える歴史的価値の大変ある寺院です。 営業卸部門・大阪営業所 山口

祭りのあと・・・～大阪営業所だより～

この新聞「なんしよん」が出る頃は少しひんやりしてきている頃でしょうか？

今年も9月19日（土）20日（日）に9月祭礼、10月10日（土）11日（日）に10月祭礼として、大阪府岸和田市で「だんじり祭り」が行われました。

今年も街は歩けなくなるくらいの観衆にあふれかえっていました。

地元の石屋さんも数多く祭りに参加して街には

「〇〇石材店」と書いてある提灯もいくつも飾られていました。

この新聞をお読みくださる皆様で「だんじり祭り」を見たことが

無い方は是非、来年見に来ては？と思います。

自然にテンションが上がリ元氣になれます。

祭りに携わる地元の方々も、もう来年に向けて動き出していると聞きます。

我々、庵治石彫工房も未来に向けて前向きに走っていきたいと思います。

営業卸部門・大阪営業所 甲佐



編集後記

社内新聞「なんしよん」の記事作成とほぼ同時進行で年に1回の社内研修旅行の担当として今年のプランを考えています。研修ですので基本的には石材業で役立つ場所や建築物を見学に行きますが本社がある四国には丁場や霊場、営業所のある近畿は神社仏閣が多く研修先には事欠きません。

それだけで充分研修した気分が味わえます。

営業卸部門・大阪営業所 甲佐

有限会社 庵治石彫工房

【本社】

〒761-0130

香川県高松市庵治町丸山 63

TEL：087-871-4607

FAX：087-871-2933

e-mail：sekicho@lilac.ocn.ne.jp

HP：http://ajisekicho.com

【大阪営業所】

〒598-0001

大阪府泉佐野市上瓦屋 661-1

第2リヒトビル 502号

TEL：072-469-1125

FAX：072-462-3899

